

V 研究科報告

広島文化学園大学大学院看護学研究科

研究科長 岡 本 陽 子

(研究科長補佐 讃 井 真 理)

1. 研究科の活動

大学院看護学研究科は博士前期課程及び博士後期課程の2課程を有し、学生の1学年定員はそれぞれ8名、3名である。2019年度の学生数は博士前期課程1年生5名、2年生8名（長期履修者含む）で、博士後期課程は1年生3名、2年生1名、3年生3名（うち1名は休学）、長期履修及び在籍学生5名であり、各学生に対して教育・研究指導を展開した。その結果、2019年度は博士後期課程1名が博士号（看護学）を、前期課程の6名が修士号（看護学）の学位を取得した。昨年度CNSコース修了生が広島県内初の老人看護専門看護師資格を取得した。前期課程うち2名が専修免許を取得した。

学位の取得以外の2019年度の主な取り組みは以下の通りである。

- ① 私立大学研究ブランディング事業 高齢者カフェを実施し、学内外で発表した。
- ② 博士後期課程学生の成果物（博士論文）のネット公表2名を行った。
- ③ 「職業実践力育成プログラム（BPプログラム）を開講し5名の修了生を輩出した。
- ④ 研究科在籍学生含め全学生に対する授業評価に関するアンケートを施行した。
- ⑤ 中期経営計画Ⅳ、及び長期行動計画を策定した。